

V 事故等の発生状況のお知らせ【鉄道事故等の発生状況】

1 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害の発生件数

- 鉄道運転事故とは、国土交通省令に定める「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。2021年度の鉄道運転事故は4件でしたが、すべてが第三者行為によるものです。
- インシデントとは、「鉄道運転事故には至らなかったが、事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことです。2021年度の発生はありませんでした。
- 輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故以外のものをいいます。2021年度は6件発生しました。

		2019年度	2020年度	2021年度
鉄道 運 転 事 故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	0	0	1(1)
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	2(2)	3(2)	3(3)
	鉄道物損事故	0	0	0
合 計		2(2)	3(2)	4(4)
インシデント		0	1	0
輸 送 障 害	鉄道係員が原因の場合	0	0	0
	車両・施設等が原因の場合	1	0	2
	鉄道外の場合（第三者行為等）	3	0	3
	自然災害の場合（風水害、地震等）	1	0	1
	合 計	5(4)	0	6(4)

※()は、自然災害・第三者行為による件数

2 主な輸送障害の内容

■輸送障害(信号現示不能による運転見合わせ)

発生日時：2021年5月13日(木)7時8分頃

発生場所：尼崎駅構内

概 要：分岐器の金具が一部破断したことによりポイント転換不良となり、関係する信号が現示不能となったため、約167分間(7:25～10:12)一部区間の運転を見合わせました。

<輸送障害> ・影響人員:約60,000人

・運休(部分運休)本線96本、阪神なんば線29本

・遅延58本(3分以上)最大遅延約96分

対 応：電気部係員が当該分岐器を点検して発生原因を特定し、金具を取り替えて復旧しました。また、全分岐器の緊急点検を実施し、異常がないことを確認しました。

対 策：当該金具の耐荷重を向上させるよう仕様を見直したほか、関係するボルトの締め付け(トルク管理)を適正化し、当該金具へ過度な負荷がかからないようにするなどの対策を講じました。